



めるとまず右岸，続いて左岸から支沢が合流するが，この支沢もまたガレ沢である。ここの岩質は，とりわけ不安定のようなのである。

沢の傾斜がやや緩やかになってきた所で，滝が出てきた。まずは4 mの滝。クライミングダウンできる。このあと2 mの小滝をはさんで，今度は15mの滝。右岸を少し下ったあと，倒木に取り付いて下る。岩質が悪く，すぐ落石が起きるので，一人ずつ下った。

このあとは大川本流まで平凡。10:30大川本流に出て，下降終了とする。

【タイム】 無名沢下降開始(9:10)→下降終了(10:30)

大川支流下ウミ沢 1992年7月26日

└

遡行を始めて15分程で小さなナメ滝が出てきた。この後も所々にナメが混ざった河原歩きが10分程続いた後に，3 mと5 mの階段状の滝を越える。この上で二俣となった。

左に入り20分程河原歩きをして小休止。この後は3 mから4 mのナメ滝が続く連瀑帯となり，高度感が出てくる。稜線が近づいてきた。8 mと3 mの急な滝の右岸を捲き，5 mの滝を越えた所で遡行終了とし，左側の尾根に向かってヤブこぎに入る。

(記・

【タイム】 遡行開始(8:35)→遡行終了(11:40)

大川支流クワ沢左俣 1992年7月26日

└

クワ沢中俣の遡行後，11時15分，クワの沢左俣めざして下降開始。急斜面の樹林帯から灌木混じりの草付となり，一気に下る。下りついて傾斜が緩やかになっ